

様式第11号(第9条関係)

実績報告書

19年4月24日

市川市長

団体名 特定非営利活動法人
行徳ITV
代表者名 平野 孝
所在地 市川市本行徳 17-22
電話 047(357)4630

平成18年7月4日付け市川第20060630-0174号をもって交付決定のあった市川市市民活動団体支援金に係る実績報告について、市川市納税者等が選択する市民活動団体への支援に関する条例第15条第1項の規定により提出します。

記

1. 事業費総額 58,000 円
2. 交付決定額 21,502 円
3. 添付書類
 - (1) 支援決定事業収支決算書(様式第12号)
 - (2) その他市長が必要と認める書類



[事業報告書]

<p>事業の名称</p>	<p>市民熟年・高齢者のIT情報化社会への積極的参加促進事業</p>
<p>事業の実施時期 実施場所・内容</p>	<p>平成 18 年 7 月 20 日～8 月 30 日の間で パソコン初心者基礎講座を開催。 7 月:行徳公民館 2回 本行徳公民館 2回 8 月:行徳公民館 4回 本行徳公民館 4回</p>
<p>事業の成果</p>	<p>市民活動団体支援制度に参加したこと、また、事業を実施したことによってどんなメリットがあったか、或いは、地域がどう変わったかなど、得られた成果を具体的に記入して下さい。</p> <p>広く中高年の方や熟年者に対して、パソコンの操作方法や情報通信機器の活用方法、メールやインターネットの使用方法をわかりやすく教える事業を通して、情報化社会の中で快適な地域生活、生きがいのある生活が送れるよう、まずは、その裾野を広げるため、会の地元である行徳地域で、パソコン初心者入門講座を、7 月から 8 月にかけて、延べ 12 回開催しました。</p> <p>平成 15 年からボランティアでパソコンの指導などを行ってきた会も、市川市の市民活動団体支援制度に参加したことで、これまでの実績の上に更に市民の間で認知度が上がってきていると感じています。</p> <p>今回、講座に参加してくれた市民の方からは、「教え方がとてもわかりやすくて、パソコンに親しみが持てるようになった」とか、「参加する前は不安でいっぱいだったが、楽しく学ぶことができた」などの感想をいただきました。</p> <p>平成 18 年の 6 月にこれまでの任意団体から法人格(特定非営利活動法人)を取得して事業を実施していくことにもなりました。</p>
<p>課題(今後の方向)</p>	<p>事業を実施したことによって、どんな課題を把握したか、また、課題を解決するための方向性について記入して下さい。</p> <p>講座開催のための会場をどのように確保していくかが最大の課題だと感じています。NPO 法人といっても、未だ、十分に理解されている方が少なく、営利事業とみられるケースが多々あった。</p> <p>行政部門と今後もタイアップしながら、NPO 活動が理解されるよう、しっかりと取り組んでいきたい。</p>

様式第12号(第9条関係)

支援決定事業収支決算書

事業の名称：市民熟年・高齢者のIT情報化社会への積極的参加促進事業

1. 【収 入】

(単位：円)

項目	金額	説明(積算等)
会費収入	36,498	団体の会計より支出
補助金収入	21,502	市川市市民活動団体支援金
合計	58,000	

2. 【支 出】

(単位：円)

項目	金額	説明(積算等)
講師謝金①	42,000	講座メイン講師 @3,500円×12回
講師謝金②	16,000	講座サブ講師 @2,000円×8回
合計	58,000	

※ 領収書を添付してください。